

韓国農林畜産食品部プレス(2019年7月30日18時10分付け)

イジェウク次官、アフリカ豚コレラ侵入防止広報キャンペーンと大邱空港、国境検疫実態点検

URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMyMTA1MiUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHlIM0QIMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cGFzc3dvcmQIM0QIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJTI2cGFnZSUzRDEIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnJvdjUzRDEwJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

(以下、機械翻訳などによる仮訳)

□ イジェウク農林畜産食品部次官は7月30日、アフリカ豚コレラの国内侵入を防止するために、夏の休暇シーズンを迎え、海外旅行などを対象に、携帯畜産物搬入遮断のために大邱空港において広報キャンペーンを実施して、国境検疫実態を点検した。

○今回の点検は、中国などの周辺国で、アフリカ豚コレラが持続発生しており、国内侵入懸念が高まっている状況で、空港を通じて不法畜産物が搬入されないように徹底した検疫を実施するように奨励し、従業員たちの苦勞を慰勞するためである。

□ 次官は、現場を確認しながら、「アフリカ豚コレラの国内流入防止のためには、空港における徹底した検疫と防疫が重要である」と改めて強調し、海外旅行者対象に、事前の広報に万全を期すよう注文した。

□ 併せて、国境を守る誇りと信念を持って、検疫業務に最善を尽くしている大邱空港の検疫官と関連機関の関係者によびかけて勞苦を称えた。